

平成29年 春季号

平成29年3月24日発行

鹿児島大学農学部 あらた 同窓会

電 話099-285-8537 振替口座02010-2-876





平成28年度会費納付のお願い

(会計年度;平成28年10月1日から平成29年9月30日)

鹿児島大学農学部、鹿児島農林専門学校および鹿児島高等農林学校の卒業生で 組織される「鹿児島大学農学部あらた同窓会」(現在まで約2万人の卒業生を輩出 し、それぞれが国内外で活躍しています)の運営は会員各位の通常年会費をはじ め、新入生(学生会員)が納付する入会金と会費などを主な財源としています。 しかし、近年本会の年会費の納付者数に明確な漸減傾向が認められ、平成21年度 から会計収支が赤字に転じ、その後も2年間赤字が続きました。

あらた同窓会の本務は、農学部と協力・連携しながら、「母校の活性化や在学生への支援を行う」、「地域支部会やクラス会などに極力出席する」等に加えて、会報の発行と頒布を通じて「農学部と同窓会の近況や地域支部会、クラス会の情報などを会員にお伝えする」ととともに「会員相互の交流と親睦を図っていく」こと等であります。そのためには、一定の経費は必要・不可欠です。

これまで、この赤字解消と同窓会活動の維持・発展を両立させることを目指して、会報の頒布拡大や財政の健全化対策などに取り組んできました。しかしながら、「本部便り(17~19頁)」にも書きましたように、本会の経理状況は未だ改善されておりません。

つきましては、今まで以上に「会費納入」のご協力をお願い申し上げますとと もに同窓会活動への積極的な参加をお願い申し上げます。

上述したように、事務局は同窓会活動を低下させることなく、同窓会が行うべき事業を継続するために運営の健全化に一生懸命努力して参ります。

開学以来、母校が100年以上培い・築き上げてきた「あらたの輝かしい伝統」を次世代に伝承して行くためにも、同窓会活動に対するご理解並びに積極的な参加と協力を賜りますようお願い申し上げます。

年会費は2,000円です。同封の郵便振込用紙をご利用ください。

事務局案内【事務局執務体制】

執務日:月、水、金曜日 10:00~16:00

TEL • FAX: 099-285-8537

E-mail: aratakai@mc 2. seikyou. ne. jp

住 所:〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24

鹿児島大学農学部あらた同窓会

目 次

会	長挨拶			
	伝統と歴史ある「農学部あらた同窓会」へようこそ	藤田	晋輔	(2)
学	部長挨拶			
	ちょっと待った!捨てずに持っておきましょう!	岩井	久	(3)
寄	稿			
	平成28年度から農学部の新教育体制がスタート! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟	雅夫	(4)
講	演録			
	社会人入学制度を活用した鹿児島大学大学院連合 ・・・・・・・・・・・・・・	也澤	和広	(5)
	農学研究科でのチャレンジ			
支	部便り			
	近畿・兵庫あらた会	卵田	興平	(6)
	佐賀あらた会	左藤	智明	(7)
	熊本あらた会	東	正隆	(7)
	鹿児島支部	南園	覚	(8)
	宮崎あらた会部5	荒武	正則	(9)
ク	ラス会・職域・グループ便り			
	F31年卒 · · · · · · · · 岩崎 健生 • 衤	頼戸口	俊	(9)
	F32年卒 ······	上野	達木	(11)
	鹿児島支部・鹿児島市役所だより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	遠川	博久	(11)
	対岳寮 ·····	和泉	勝一	(12)
学	生便り			
	生物生産学科	岩永	響希	(13)
	生物資源化学科 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	合原	翔平	(13)
	生物環境学科 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	李	彰仁	(14)
	獣医学科	水野	真伸	(14)
恩	師のお喜び並びに同窓の訃報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			(15)
本	部便り · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	冨永	茂人	(17)
	同窓会への寄付者ご芳名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			(19)
役	員名簿 ·····			(20)
会	計報告			(20)
鹿	児島大学農学部あらた同窓会会則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			(23)
編	集後記 ····································	遠城	道雄	(24)

表紙:入来牧場の牛・放牧

伝統と歴史ある「農学部あらた同窓会」へようこそ



鹿児島大学農学部あらた同窓会 会 長 **藤田 晋輔**

今年も「学生会員」であった大学院修了生、学部卒業生の皆様を「鹿児島大学農学部あらた同窓会」の正会員としてお迎えする春が巡ってまいりました。大学院修了並びに学部卒業の皆様にお祝い申し上げます。

私共の母校は1909 (明治42) 年鹿児島高等農林学校として開学以来、鹿児島農林専門学校に、学制改革により194 9 (昭和24) 年「鹿児島大学農学部」に引き継がれ、まもなく開学110年を迎えます。周知のように、約20,000名に近い「農学部あらた同窓会」会員の先輩諸侯は、国内だけでなく、世界各地で多くの領域・分野、職域において高い目標と使命感のもとに枢要な活躍をされています。

歴史ある同窓会に新たな正会員の仲間となる皆様も、それぞれの分野について学び、会得された多くの知識・実践・実行力を十分に発揮され、今後国内外の多くの分野で大いに活躍されることを期待することを念じてやみません。

これまで、農学部の獣医学科を除く従来の6学科が3学科に編成換えを行うなど、文部科学省、農林水産省の政策の変化の中で、教育や研究体制の変革に伴い、農学部の教育課程(学科名)は、時代に即した体制に追随する必要から、学科名も大きく「さまがわり」しました。多くの卒業生各位には理解しがたくなっていると思います。

一方、2015(平成27)年には「国際並びに地域貢献」という分野を取り込んだ教育、研究分野の強化を意識した 改革により、農学部・水産学部連携による「国際食料資源学特別コース(定員:農学系サブコース12名、水産学系 サブコース10名)」が新設されました。また、獣医学科は国際的に通用する獣医学教育の必要性から、2012(平成24) 年には、山口大学をパートナーとした「共同獣医学部」として発足しました。

世界的に見ますと、現今広く地球環境や技術分野においても、農学・農業に関与する種々の新しい変革を求めた多くの課題や死活問題が常に横たわってきました。このような時、わが農学部あらた同窓会には、先人的な思想をベースに現代的発想を組み込み、これらの変革に十二分に対応、実践的行動ができる新進気鋭の皆様を新しい正会員としてお迎えする事はこの上ない喜びです。

ご存じのとおり、現在鹿児島大学は『鹿大「進取の精神」支援基金』を募集しておりますが、本同窓会にも応分の支援が求められています。「本部だより(後述)」のように、本会の運営は会員に納付される年会費(納付率約20%)等で賄っております。鹿児島大学への協力はいとわないつもりですが、諸般の事情から昨秋の役員会(幹事会、評議員会、そして総会)に諮り、向こう数年かけて運営費の節約による捻出」で対応することを提案・了承いただきました。ここに改めて、多くの現会員各位に年会費(2,000円/年)の積極的納入のお願いと共に、新しくお迎えする卒業生の各位も、ぜひ平成29年度以降も引き続き年会費の積極的な納入の協力をお願いします。

最後になりましたが、今年度も同窓会活動の趣旨にご賛同賜り、同窓会活動への積極的なご参加・協力と、「鹿児島 大学農学部」の発展のためにご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

(林S37卒)

ちょっと待った!捨てずに持っておきましょう!



農学部長 岩井 久

卒業・修了生の皆さん、ご苦労様でした。短い人で2年、長い人では6年あるいはそれ以上、これまでの人生である意味最も自由度が高かった時間が、終わろうとしています。鹿児島大学農学部を巣立つ皆さんは、この後修士・博士に進学される諸氏を除いて、多くの方が県内外の官公庁や企業などに就職、あるいは家業を継ぐことになります。

この機会にひとつお願いあります。それは本学農学部の出身であることを、当面の間は記憶しておいてほしいと いうことです。鹿児島大学は九州管内の国立大学法人では2番目の規模を誇る総合大学です。9つの学部を有する ということは、雑ぱくにいうと、9種類の学問を身に着けた専門家を社会に送り出していることになります。皆さ んが本日手にされた学位記に記載のある「学士(農学)」あるいは「修士(農学)」は、皆さんが既に特別なカテゴ リーの専門家集団の一員とみなされることの証に他なりません。これからどの道に進もうとも、皆さんの履歴の重 要なポイントとして、一生ついて回る称号だと理解・認識してください。皆さんはまだ気づいていないかも知れま せんが、昨今「大学全入時代」とは言っているものの、4年生の国立大出身者は、社会においては依然少数派なの です(受験期にそれなりの努力が必要だったこと、また親御さんなどからの相当な学資金が必要だったことを思い 出してください)。どの職種・職場にあっても将来の幹部候補としての扱いを受けるでしょう。また家業を継ぐ人に おいても、将来の地域のリーダーとしての期待がかかることが多いと思います。もう既に手遅れかも知れませんが、 今流行りの「断捨離」で、在学中に購入した高価な専門書(教科書)や苦労して作成した授業ノートを、資源ゴミ として搬出してしまった方がいるかも知れません。でも不幸中の幸いでまだ片付けが終わってない人は、せめてそ の中でも自分の専門領域に関わる書籍の数冊は、廃棄や後輩へ譲るのではなく、実家に残しておくか新任地に持っ ていったらどうでしょうか? 必ずしも専門分野の職種に進まなくとも、職場の上司から「あ~、○○くん、確か 君は農学部出身だったよね?・・」と新規プロジェクトを任されないとは限りません。実は現在国の主導もあり、 多くの自治体や企業が、地域再生や健康ブームの中で「食」に係る業種に続々と参入している状況なのです。また ここ数年の間に、龍谷大や徳島大などに農学系学部が新設されたのをご存知でしょう。福島大でも新設が認可され たようです。「農学」はブームなのです。

既にみんな処分してしまった・・・という人も安心してください。農学の素養は何と皆さんの頭脳にしっかりインプットされています。書籍が売れなくなった昨今ではありますが、都市部の大型書店に行くと、一般向け・専門家向けの農業関連書籍や雑誌が数多く配架されています。本務の合間や休日に機会を見つけて、学びを続けていってほしいと思います。

それと最後に、まさかそのようなことは無いものと期待したいのですが、一言注意しておきます。今宵は荒田近辺や天文館でカラオケを熱唱する人、飲み明かす人も多いことと思います。くれぐれも「卒業証書」や「修了証書」を現場に置き忘れないように。実は毎年のように、心ある飲み屋の店主さんから、学生係に証書入りのフォルダーが届きます。本人が他県や首都圏に行っている場合は、指導教員のポケットマネーで送らないといけないので、勘弁してください。それでは親御さんもたまったものではありません。 (農 S 55卒)

平成28年度から農学部の新教育体制がスタート!



副学部長境 雅夫

農学部では学部教育の新時代への対応とさらなる充実を目指して学科の改組を実施し、平成28年4月から新しい教育体制がスタートしました。学部の入学定員205名に変更はありませんが、新課程では、「農業生産科学科」、「食料生命科学科」、「農林環境科学科」の3学科8教育コースと国際食料資源学特別コースの教育体制へと再編されました。

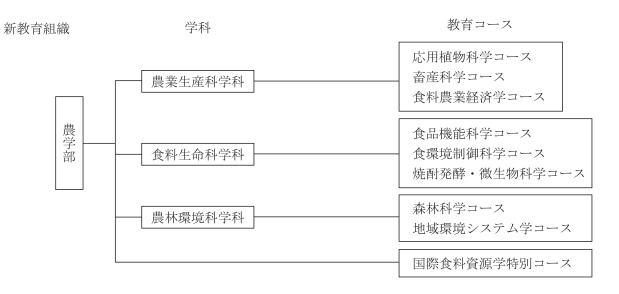
農学部は、これまでも鹿児島大学が立地する南九州という地域の特性を活かし、農林業、食品産業等、食住農関連分野の技術者、地域指導者など、新たな時代の社会作りに貢献する人材の養成、創造性に優れ、社会のニーズに対応できる人材の養成、分析力、総合力、企画力および実行力を有し、しっかりした職業観を備えた人材の養成、国際的視野を備えた人材の養成を行ってきました。

しかしながら、平成2年(平成9年、一部コース再編)の農学部の改組後、世界や国内の社会情勢や農業事情は大きく変化し、それに伴い農学における教育研究の変革も求められる状況となっています。世界的には、開発途上地域における人口の急増・経済発展に伴う資源・食料の消費増大やバイオ燃料の増産など農産物用途の多様化などにより、農産物の国際的な需要は今後ますます高まることが予想されています。さらに、地球規模で自然環境の破壊と地球温暖化など人類の生存に関わる環境問題などが深刻化しており、世界規模で

の取組が求められています。また、国内的には、食料自給率の低下、農業就業人口の減少、農村地域の活力低下、食の安全などの問題が顕在化するとともに、「農業」という産業における次代を担うに相応しい新たな資質能力を持った人材が求められています。

このような状況のもと、平成25年度に鹿児島大学農学部ではミッションの再定義を行いました。その結果、地域性に基づくフィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等および食住農関連分野の技術者・指導者などを育成する教育に努め、さらに、地域社会との連携に励み、世界に開かれた学部であることを目的としました。とくに、本学部の強み・特色を活かし、社会的役割を果たすため、農畜産物の安全安定供給や利用加工、特殊土壌および災害からの国土保全などの地域課題、ならびに地球的課題である温暖化対策に関する教育研究の推進を学部のミッションとしました。

鹿児島大学の教育・人材育成目標および農学部のミッションの再定義に沿って、学生の要望や新たな社会の要請に対応した農学部の新たな教育課程を構築するため、教育組織を再編して新3学科8教育コースを設置しました。また、国際的な食料問題に取り組む人材の育成を目的として平成27年度からスタートした農学部と水産学部の連携による国際食料資源学特別コースとともに、これまで以上に社会で活躍する人材の養成に取り組んでまいります。平成32年3月には新課程での卒業生が、21世紀の新しい課題に対応できる人材として地域社会から国際社会まで広く活躍することが期待されます。



講演録

- 社会人入学制度を活用した 鹿児島大学大学院連合農学研究科でのチャレンジー

常識が常識でなかった! 「サトイモの湛水栽培に関する研究」で学んだこと

農学科 H. 2卒 池澤 和広 (鹿児島県農業開発総合センター)

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場に勤務し野菜の栽培研究を担当しながら、平成22年10月 鹿児島大学連合大学院農学研究科に入学し、平成27年 3月「サトイモの湛水栽培に関する研究」で学位取得(4年半在籍)した。

なぜ、連合大学院へ入学したか?その動機は当時の上司である鹿児島県農業開発総合センター大隅支場松元順支場長、園芸作物研究室福元伸一室長からの一言「博士号取得を目指してみないか?」であった。その背景は、試験研究費(競争的資金等)獲得のためには、博士号を取得した研究員がいることが有利、しかし、野菜部門に誰もいなかった。そこで、現在の仕事を続けながら大学院に入れる社会人入学制度を活用した場けながら大学院に入れる社会人入学制度を活用した場合、①講義・セミナー等の単位取得と最低2報の学術論文でよいこと、②これまで取り組んできた試験研究の中で論文化できる研究成果があったことなどから、せっかく頂いたチャンス、チャレンジしてみることにした。

人生、そんなにうまくはいかない、最初の試練が待 ち受けていた。大学院入学前の準備として研究テーマ を決める必要があった。当時の上司 松元支場長の先 輩である岩井純夫先生(生物生産学科園芸生産学講座 蔬菜園芸学研究室教授)のところに,これまでのサト イモに関する研究をとりまとめ相談に向かった。研究 テーマ「サトイモの親いも副芽による大量増殖」、これ は、サトイモの親いもに副芽という小さな芽が数十個 あり、これを培養することにより1 cm 程度萌芽させ、そ れを切り取ってセル成型苗を大量に生産できるもので, ほとんど廃棄されている親いもの有効利用にもなる画 期的な技術と自分なりに自信はあった。しかしながら, 岩井純夫先生からは「これでは論文化は無理」と一刀 両断、想定外の結果となった。理由は、既に愛媛県農 試での研究報告があり新規性がないとのことで、目の 前が真っ暗になった。大学院に入学しても3年間で新 たな研究テーマで博士論文を完成させることなど到底 無理な話,あきらめるか?悩んだ。しかし、ここであ きらめたら野菜部門における鹿児島大学との連携が途 絶えると考え,大学院入学を決断した。

思い切って飛び込んだものの研究テーマが決まらない中で、サトイモについて遮光や水分ストレスを与えたときの気孔や生育への影響に関する研究を展開していった。こんな中、「ほとんどのサトイモ品種が湛水条件で生育が促進される」ということが分かり、「なぜ、

サトイモは湛水で生育促進するか?」をテーマに本格的な研究を開始した。サトイモは1年に1作しか栽培試験ができず,最初の論文投稿は入学して既に2年2か月経過していた。ホットする暇も無く次の試練が待ち受けていた。投稿論文の査読者から試験規模,複数年の反復試験など要求され,修正投稿するたびにさらなる新たな指摘がなされるなど論文受理までには多難を繰り返し,最終的に2報の論文が受理されたのは3年院入学後4年1か月目であった。本来,大学院は3年間,半年ごとに延長を繰り返し,結果4年半在籍して学位論文を書き上げ受理され,博士(農学)号を取得できた。

今回の研究では、一般常識の「サトイモは水が大好物、でも湿害には弱い」ということが、実は間違いであることを見出した。「何気ない反応を見逃さない、それは日々の観察」、「常識を当たり前と思わず、駄目なことでもチャレンジする」ということを学んだ。 さらに、試験研究には進行管理が重要であること、試験の効率化にはネットワークも重要で、壁にぶち当たったとき相談できる人が多いほど解決の道が早いことを発んだ。経験を通じて伝えたいことは、①思い切って発び込んでみてください。「失敗すればやり直せばいい。やり直してダメなら、もう一度工夫し、もう一度やり直せばいい。わからなければ、人に聞くことである。」

②当たり前のことでも疑ってみてください。「とにかく考えてみること、工夫してみること、そして、やってみることである。失敗すればやり直せばいい。」③夢を語ってください。「何かをしたいと思ったとき、色んな人にその夢を語りなさい。相談しなさい。そうすれば、応援してくれる人が出てきて、色々と必要な情報も集まってきて、必ず夢を実現できる。」これは京セラの稲森会長の言葉でもある。

今後については、湛水栽培サトイモに関する研究の 社会貢献、研究予算の獲得、職場における大学院社会 人入学に対する支援策の構築に取り組んで参りたい。

最後に、大学院で多大なるご指導とご鞭撻を賜りました多くの先生方、また、よく大きな息子を大学院に送り込んでくれた家族に、この場を借りてお礼申し上げます。



支 部 便 り

近畿・兵庫あらた会だより

平成28年度近畿・兵庫合同総会の概要

平成28年度の通常総会は、5月29日(日)13 時からJR尼崎駅北側のホテル「ホップインアミング」で5年連続して合同総会となりました。

本年度の総会には、本部の冨永茂人常任副会長(園48)【前農学部長で現在鹿児島大学かごしまCOCセンター特任教授[社会貢献部門]】にご臨席をいただいた他、兵庫あらた同窓会の神沢亀貴顧問(化19)と山本 稔顧問(林22)が3年ぶりに、西間庭正士氏(獣36)が20年ぶりに出席されるなど総勢25名で和やかに行われました。

はじめに、兵庫あらた会の日高康貴会長(獣37)が、会員の高齢化で集まりが悪く将来に不安が残るが、お互いに連携して同窓会を盛り上げていくとともに鹿児島大学同窓会連合会関西支部設立に協力していきたいと挨拶をされました。

なお、近畿あらた会の内田 昭会長(獣25)が今年も体調不良により欠席されたため竹内正郎氏(獣23)に挨拶をいただきました。

次に、冨永常任副会長から母校の動き(農学部の改組とCOC事業の実施)並びに同窓会本部の近況報告(常任副会長の交代、会費納入率の向上対策等)をいただきました。

その後、記念撮影の後、13時50分には渡邊幸博氏

(獣27)の乾杯の音頭で祝宴に入り、ビールや近畿あらた会の藤岡悦治常任幹事(農46)が準備された焼酎「薩摩すんくじら」や「笠沙恵比寿」などを酌み交わして歓談し、14時から田代善和氏(畜46)を皮切りに出席者全員が旅行、闘病体験、健康管理法、趣味、家事・介護、ボランティア活動など近況をマイク片手に語りました。

会員の高齢化が進む中、出席会員の最高齢(92歳)である神沢亀貴氏が数年前に作成された額入りの「折り紙の蝶36匹」を展示しましたが、その繊細さに驚いていました。現在では折り紙はされていないとのことでした。

最後に渡邊氏の「北帰行」の独唱に続き太野垣賢治 氏(エ49)の巻頭言で北辰斜めに、田代氏と竹内氏 の発声で高等農林校歌と第四寮歌を全曲とも最後まで 合唱し、山下高徳副会長(農37)の閉会の辞で16時 に祝宴を閉じました。

その後、冨永副会長を含め10名が会場に隣接する ビル内の居酒屋に移動して2次会を楽しみました。

なお、来年は5月27日(土)、同会場で合同総会を 開催の予定ですので、多数の出席をお願いする次第で す。

末筆ながら、冨永副会長には当夜伊丹空港から鹿児 島空港まで向かわれましたが、濃霧の為、着陸できず 関西空港に引き返し、三ノ宮で投宿されたとのことで す。

本当にご苦労様でした。これに懲りずに是非次の機会 もご臨席いただきますようお願いする次第です。

[兵庫あらた同窓会 柳田興平 (獣 S 46卒) 記]





佐賀あらた会だより

平成28年度佐賀あらた会総会・懇親会が平成28年7月9日(土)、佐賀市の「グランデはがくれ」で開催されました。

本年度の総会には、同窓会本部の冨永 茂人常任副会 長にご臨席をいただき、今年も昭和17年卒で90歳を超 えてますますお元気な大先輩から、平成28年卒業と同 時に実家のハウスみかん経営に就農した初々しい若者 まで幅広い年齢層の30名の会員の参加がありました。

総会は午後3時から始まり、冒頭、この一年間にご逝去された先輩お一方へ哀悼の黙祷を捧げました。

古賀 俊光会長(園 S 54卒)の挨拶に続いて、喜寿を迎えられたお二方への記念品贈呈の紹介を行い、会則に従い古賀会長の議事進行の下、事務局から提案した以下の議案について審議が行われ、異議なく承認されました。

・第1号議案:平成27年度活動実績及び決算について

・第2号議案:役員改選について

・第3号議案:平成28年度活動計画及び予算(案)について

役員改選については、会則により2年の任期(再任を妨げない)となっている役員13名(会長1名、副会長3名、評議員7名、監事2名)及び幹事2名のうち、副会長・評議員・監事の各1名、幹事2名が交替することとなり、新たな執行部体制による2年間がスタートしました。

議事終了後、冨永先生より母校の詳しい近況報告と

同窓会の活動状況の紹介、並びに同会への支援強化の 要請などをお話しいただきました。

最後に出席者全員での記念撮影で総会を終了し、引き続き同ホテル内で懇親会に移りました。

懇親会は、志氣 武先輩(農S17卒)の乾杯の音頭で幕を開け、卒業と同時に就農した新入会員の加茂 琢磨君(生H28卒)のひとこと挨拶で盛り上がりました。

参加者それぞれの席を巡っての談笑で盛り上がる中、 予定の2時間はあっという間に過ぎ、光山 潔先輩(園 S 56卒)の発声で恒例の「鹿児島高等農林学校校歌」と 「第一寮歌"黒潮岸に"」を全員で合唱し、深町 淑郎 副会長(林 S 49卒)の締めの挨拶で会を閉じました。

ご多忙にもかかわらず、幾度となくこの会のために 遠路佐賀までお越しいただいています冨永先生には改 めて感謝申し上げます。

来年度も多数の会員の出席をお願いするとともに、 あらた同窓会のますますの発展を祈念する次第です。

[佐賀あらた同窓会評議員 佐藤智明(農H2卒)]



熊本あらた会だより

「平成28年度熊本あらた会総会を開催」

熊本あらた会は、平成28年11月11日(金)午後7時から、熊本市内のアークホテルに於いて、熊本あらた会総会を開催いたしました。熊本地震後の総会で参加者を心配しましたが、例年の45名程度の参加がありました。

我々の人生の中でも初めてという、平成28年4月14日予裏、16日の本震と縦続きに来た大地震では、熊本地域で被害がなかった地域がないと云えるほどの災害でした。特に熊本市周辺部、宇城・八代市周辺部などは報道に勝る大きな被害を受けました。本当に立ち直れるかが心配しました。しかし全国からの支援や励ま

しにより半年が経過した11月には落ち着きを取り戻す ほどの復興が進んでいます。人間は力強いし仲間との 絆で生きていけるとつくづく思いました。今からが大 変ですが頑張っていきたいと思う熊本県です。復興で の一番の力は、全国の皆さん方の心強い応援が何より



でした。本当に有難く心温まるものを実感いたしました。

全国の皆さん方に心から感謝とお礼を申し上げたく 思います。

熊本あらた会総会は、あらた会本部からあらた同窓 会副会長 鹿児島大学名誉教授 冨永茂人先生に来て いただきました。

東正隆会長の挨拶、冨永茂人副会長の来賓挨拶など のあと議事に入り、例年どおり平成27年度会務報告・ 収支決算そして平成28年度会務計画・収支予算の議事 等を協議し総会を終了しました。

懇親会は東会長の乾杯で始まりましたが、1年間に 一度とはいえ懐かしい出会いもあり楽しく過ごしまし た。熊本あらた会は新人の会員が数名づつは加入して いただき心強く有難く思います。

若い会員の中には、冨永先生から指導を受けた人も 多く会は盛り上がりました。最後は鹿児島高等農林校 歌を全員で高らかに唱い散会しました。

[熊本あらた会会長 東 正隆 (総農S38卒)]

鹿児島あらた会だより

「鹿児島支部だより」

鹿児島支部は、鹿児島市郡の機関・団体の支部が賛同し、昭和28年9月に設立した歴史ある支部です。また、構成する職域も11支部からなり、会員数も424人と、あらた同窓会では最大の支部です。

総会を毎年10月の第3金曜日に開催すると平成26年度の総会で決めたことから、平成28年度の総会は、平成28年10月21日に開催しました。

平成18年度から恒例になっていますボウリング大会は、総会に先立って天文館のT-MAXボウルで開催しました。大会には9つの職域から66名の参加があり、職域対抗、個人対抗戦のほか、レーンごとのチーム対抗戦で、和気藹々な中にも熱のこもった戦いを繰り広げていただきました。ボウリング大会の成績発表と表彰は、総会後の懇親の場で行うこととし、ほとんどの方が総会会場のジェイドガーデンパレスへバスで移動しました。

総会は、68名に出席いただき盛大に開催することができました。ただ、ボウリング大会の熱戦のせいで開会が8時にずれ込んでしまいました。

総会は、佐野岩男会長の主催者あいさつ、本部の富 永茂人常任副会長の来賓あいさつで始まり、議題とし て事務局から提案した

- ・第1号議案:平成27年度事業実績及び収支決算について
- ・第2号議案:平成28年度事業計画及び収支予算案について

を審議し、原案どおり承認いただきました。

総会の後の懇親会は、鹿児島大学の岩井農学部長の ご挨拶と乾杯の音頭で始まり、円卓を囲み、明るい声 が飛び交う楽しい雰囲気の中で、旧友をあたためるこ とができました。途中,ボウリング大会の結果発表を行い,さらに話しがはずみ,最後は,職域対抗優勝チームで個人優勝の永田良治さん(園芸,昭和63年卒)から懇親会を締めてもらい,楽しい1日が終わりました。

今後も,あらた同窓会の最大の支部としての自負を もちながら,多数の方が参加して交流が深まり,あら た同窓会がますます発展することを祈念するところで す

[鹿児島支部常任幹事 南薗 覚(農S56卒)]





平成28年度あらた同窓会庫児島支部ボウリング大会結果

区分	優勝	準優勝	第3位
職域対抗戦	県庁農政部	県庁環境林務部	農業・農村振興協会
チーム対抗戦	県庁農政部①	県庁農政部②	県庁環境林務部②
個人対抗戦	永田良治(県庁農政 部)	川内博文(県庁環境 林務部)	末吉武志(鹿児島大学)
個人対抗戦 (女性の部)	三浦環(農業共済連)	池田美穂(県庁環境 林務部)	海田遙香(県農協連)

宮崎あらた会だより

「平成29年宮崎あらた会を開催」

これまで宮崎あらた会は、平成26年高鍋町、平成27年都城市と、より多くの会員が参加しやすいよう開催場所に配慮しながら開催してきました。今年は、平成29年2月4日(土)11時から宮崎市の「ニューウェルシティ宮崎」を会場に開催しました。

今年の宮崎あらた会には、同窓会本部から常任副会 長の冨永茂人名誉教授(園48卒)にご臨席をいただ き、昭和20年卒業の大先輩から平成8年卒業の若手会員 まで、幅広い年代が集い総勢30名で和やかに行われま した。

会は牧元廣美副会長の司会で進行し、小川佳彦会長の挨拶で始まりました。本部からは冨永副会長から大学の近況や同窓会の様子などの報告をいただき、共同獣医学部の創設など興味深いお話を聞くことができました。

溝俣幸雄顧問の乾杯の音頭で懇談が始まりましたが、 93歳になられるという溝俣顧問の張りのある声、まっ すぐに立たれたその若々しい姿に皆度肝を抜かれてし まいました。各テーブルでは久しぶりに会ったお互い の近況の交換、初対面でも同じキャンバスで学んだ者 同士、お互いの知り合いが思わぬところでつながって いたりと遠慮のない会話が弾みます。参加者で最も若 い平成8年卒の谷口泰成、香菜ご夫妻は冨永副会長の教 え子とのこと。冨永先生との思い出を披露していただ き会も大いに盛り上がりました。これまで会員の高齢 化に対応し会場はイスとテーブルでしたが今回は座敷。 「やはり座敷の方が話が弾むな」との声が多く聞かれ、 次回に向けて要検討でしょうか。

牧元副会長の巧みな進行であっという間に2時間半の時間が経過し、記念撮影の後、次回の再会を期して散会しました。

[宮崎あらた会事務局幹事 荒武 正則(畜S48卒)]



▶ クラス会・職域・グループ便り ◀

「F 31年卒第12回(卒60周年) 同窓会イン久留米」

あらた F 31・卒業60年目・12回目の同窓会(2年毎)は、平成28年 5 月12・13日鹿児島と歴史的縁のある福岡県久留米の地に全国から83歳13名の集いが馳せ参じました。

時、4月14・16日の熊本大震災直後で、この会の中 止、延期も考慮しましたが、異常なき同士が、このよ うな時こそ難を排して、集い、励まし合うじゃないか と、いうことで強行致しました。

先ず、4月12日(木)の初日、JR久留米駅に集うや、 お互いの震災の状況を確かめ、安堵し合いました。

集合場所のJR 久留米駅は平成22年、九州新幹線久留 米駅が併設され新駅舎が完成し、この東口駅広場の記 念碑として「からくり太鼓時計」(東洋のエジソンの田 中久重作)・「世界最大のタイヤ」(ブリヂストンタイ ヤ5屯)・「久留米ラーメン」(ラーメン発祥の地委員 会寄贈)をPRしました。

次は、久留米市中央の市役所20階の屋上より、北の 宝満山連の三郡山系、北西の脊振山系更に南西の普賢 岳、これ等に囲まれた雄大な筑後平野と日本三大河川 の一つ筑後川を遠望し、近くは市役所真近下の唯一の 企業プリジストンタイヤ、日本足袋(アサヒコーポレー ション)、月星化成(ムーンスター)等ゴムの街並みを 説明しました。

更に、耳納山系西端の由緒ある、高良山に登り、再度、大きく宝満山、筑後平野、筑後川の雄大さを観直し、なお、歴史的に、高良山は筑前・筑後・肥前三国に広がる九州最大の筑紫平野の中央に突出しする緊要地形で、古代より政治・交通・軍事の要衝として歴史上大きな役割を果たしてきたことを力説しました。

一方高良山の「久留米つつじ」の公園はキリシマつつじを主体にその近縁種との交配により育成されたもので300種以上が存在していると言われています。

なお、つつじ公園より下った高良大社は仁徳天皇が

鎮座されており、履中天皇元年(400)に御社殿を建て 祀ったとあります。古くから筑紫の国魂として、また 筑紫路の要衝をつかさどる守護神として人々の生活を 守るとともに延命長寿の厄除の神として、厚く信仰さ れてきたとのことです。

高良大社を下って中腹の天然記念物のキンメイ竹が 群生しておる所で下車し、この竹は、黄白色の幹に緑 色の縞が入ったモウソウチクの品種で、突然変種によ るものとされており、和風庭園の緑化資料として利用 されていることを説きました。

一方、車中では、支那事変時、敵の堅固な陣地の鉄 条網を、久留米の工兵隊の三勇士が、点火した急造破 壊筒をを抱いて弾丸の中を突進し、その鉄条網を破壊 して、目的を達成、三名の壮烈な戦死は、熱狂的な反 響を呼び起こし久留米市の公会堂前に作江・北川・江 下の肉弾勇士の銅像が建てられたが、第二次大戦中の 金属回収に供出され、姿を消したとのことを話しまし た。

夜の宴会の部は、筑後平野の北端大分県日田に通ずる隘路口で耳納山系・筑後平野・筑後川の展望絶景の原鶴温泉高台のビューホテル・平成で開催となりました。

会同は、先ず、物故者に対する黙祷、次いで熊本大 震災で被害に遭われた同窓へのお見舞いを計ることに 決しました。

本番は、各人の現況を披露し、懇談に入りましたが、 夫々病を持ちながらも、これを曲りなりに克服して健 康作りに努め、趣味にも邁進しつつ、町の行事へも参 加しながらの逞しさに、暖まるものを感じました。

2次会は「竹の子」談話となり、孟宗 (モウソウ)

竹、真(カラ)竹、布袋(コサン)竹、寒山(デミョウ)竹、四方竹、寒竹の種類「〇〇は鹿児島弁」、美甘順、産地別等また戯れ発育更には北海道の笹竹の子等も飛び交う等、流石に鹿大農の林科卒慣わしでした。

翌日13日(金)は筑後川沿いの水天宮にお参りし、宮司より祭り神は、安徳天皇の生母徳子とされ平家一門の霊を弔い、住民に加事祈祷を行ったのが始まりで、また、水天宮第22代宮司の真木今泉守保臣は明治維新の中心的存在で討幕義挙に加わろうと薩摩藩へ入り、島津久光公と共に尊王攘夷に立ち上がったということです。

一方、久留米城では、有馬豊氏の入国に始まり、10代頼永は薩摩島津家の晴姫の輿入れもある由緒あるまた縁ある家柄でありまして、また、城内には東京で東郷元帥と久留米藩士として交流のあった小倉敬止が東京の古びた東郷家屋を久留米城に移し、ここで東郷元帥の思想を志士に伝授し、後に初代プリジストン社長石橋正二郎氏が現在の家屋に建て替えたということで、更に久留米と親しくなった感じでした。

昼食は、各季節毎、様代わりする庭園を持つ、名門 萃香国での食事をとり、2日間の旅の癒しをほぐして もらいました。この2日間久留米の自然と歴史に親し んで、なお且つ同窓の絆を更に深めても貰ったことに、 深甚の敬意とするところです。

昼過ぎ JR 久留米を起点として、それぞれの帰路につき、深い握手を交わし、事後の無事を祈り、2年後、日本一の富士山を仰ぐ静岡の地で会うことをこの世の最大の幸せと喜びとして誓いました。

[岩崎 健生、瀬戸口 俊(林S31卒)記]



久留米市高良山より筑後平野を背景に撮影

F32の同窓会について

昭和32年林学科を卒業した同窓生は29名でした。

今は八十路を越えて元気な者13名、体が弱っている 者8名、そして死亡した者が8名です

鹿児島大学を卒業して60年近くになりますがその間、営林局に勤めていた牧角淳氏の盡力で同窓会誌「高隈」を毎年発刊しております。記事の内容は各人の近況報告と思想であります。同窓会は卒業して2年毎に日帰りで開催しておりましたが10年前から1泊2日で鹿児島、熊本、福岡で巡回して開催しております。その内容は1日目は懇親に当て2日目は自家用車で観光旅行を行っております。今年は鹿児島市のサンロイヤルホテルで4月13~14日に開催しました。

出席者は札幌より1名、東京より2名、愛知より1名、福岡より2名、熊本より2名、地元鹿児島より2名の合計10名でした。

出席者は遠くに住んでいる人の方が高く札幌の竹中 氏の出席率は100%です。これからもお互いに健康に留 意して長く同窓会が続けられることを願って止みませ ん。

今度2年振りに会いまして八十路を越えた老顔にし わが増えておりました。一堂で宴会が終った後に部屋 に戻って小グループで2次会を行い、昔の思い出に時 間を忘れて話が尽きませんでした。

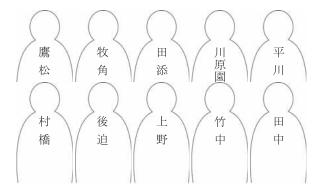
例えば昭和29年の秋、演習林実習に行く途中で垂水港から高隈(先日自衛隊の飛行機が落ちた山)への木炭を燃料にした定期バスがエンストして乗客が全員降りてバスを押して再起動したこと。1週間の中間の日曜日に地元の開拓地の人々と親睦のソフトボールの試合をしたこと。

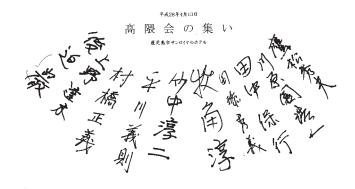
実習が終って最後の夜に焼酎を飲んでファイヤース

トームに青春を発散させたことなど話は尽きませんでした。

「上野達木(林S32卒)記]







鹿児島支部・鹿児島市役所だより

鹿児島市役所では、鹿児島支部に属する職域として独自に会則を設けて支部組織を作っており、現在、109名の会員が在籍しています。会員の職種も農学部ならではで、農業・林業以外にも、一般事務や獣医師、土木の職員がおり、その職場についても幅広いものがあります。また、0Bの方々についても、希望される場合には、引き続き入会していただいております。活動については、現在、会長の田中隆義東京事務所参事(農学・昭和59年卒。)副会長の星野泰啓教育委員会管理部

参事(農芸化学・昭和58年卒。)を中心に行っており、活動内容としては、市役所支部の総会及び懇親会を年一回開催しており、その他にも、同窓会本部や鹿児島支部の総会にも多数が参加し活動を盛り上げております。

また、市役所支部には、ほぼ毎年のように新入会員を迎えており、平成28年度は4名が入会しました。今年度の総会の中でも、新入会員を紹介しましたが、ステージ上の新人が緊張した面持ちでマイクを握って自己紹介をする姿や、先輩から優しくも鋭い質問に対して懸命に答える姿に初々しさが感じられ、新しい仲間への歓迎ムードが漂っていました。

今後も、多くの新入会員を迎えながら、会員同士の 交流が深まって、鹿児島市役所支部の活動がさらに活 気あるものになるとともに、あらた同窓会全体がます ます発展するよう祈願する次第です。

[鹿児島支部幹事(鹿児島市役所) 猿川 博久(農工S63卒)]

「対岳寮」同窓会(昭和40年代前半の 在寮者有志)を盛大に開催

「対岳寮」は農学部の専門寮で戦後は学内にあったそうですが、今回参集した同窓生が在寮した当時は唐湊の丘陵にある学生寮の中に移っています。鉄筋コンクリート2階建て、1室4名の1、2階各4室の32名収容で、建物中央の共用部分の西側が水産学部の「黒潮寮」となっており、新寮と呼ばれていました。2~4年生の32名が学年に片寄りがないように各室に割り振られ、起居を共にしてきました。

さて、今回の同窓会ですが、昭和40年代前半の在寮 者で九州地域の在住者を中心に参加を呼びかけ、41年 卒が1名、42年卒が5名、43年卒が4名、44年卒が3名、4 6年卒が2名、47年卒が1名の16名と奥様方2名、それに 長年あらた同窓会の面倒をみて頂いた林満先生、櫛下 町鉦敏先生にもご出席いただき、総勢20名での開催と なりました。同年代の同窓会は13年前にも開催されて いますが、今回の出席者は若干年代が上がり、また卒 業以来約50年振りの再会という者も多く、開会前から 大変な盛り上がりとなりました。

ときは平成28年11月26日 (土)。場所は鹿児島市天文 館

第一部 午後1時~3時(ホテルレクストン鹿児島): 開会・昼食・あいさつ交換

第二部 午後3時30分~5時30分(カラオケパーティワン天文館店): 寮歌の夕べ

予定通り午後1時開会。50年という年月の間数名の方々が亡くなられており、開会に先立ち黙祷を捧ぐ。幹事の開会挨拶に続き、入江さんの音頭で乾杯して第一部開会。昼食を摂りながらあいさつ交換は続きました。司会が「1人3分位で近況報告を」と、2時頃から各人の話が始まりましたが、出てくる話はなぜか寮時代の思い出、エピソードばかり(飲ん方、寮の運営、ダンス、ギター、残飯整理、ミカン泥棒などなど)、それも1人3分で終わる筈もなく・・・。途中で第一部は時間切れとなり、第二部に持ち越しとなりました。

全員揃って懐かしの天文館を歩いて、第二部会場へ。若松先輩の音頭で第二部開会。持ち越しとなった鮫島・若松両先輩の蘊蓄のある話(ダンス、卒論等々)。林先生、櫛下町先生からは大学時代、100周年記念行事などのお話を頂き、農学部とあらた会の資料も頂きました。有難うございました。また奥様方からも感想などお言葉を頂きました。そして高等農林学校校歌から始まり、第二寮歌、第四寮歌、七高の北辰斜め、楠の葉末、水産学部かごしま丸出航の歌、古い顔等々、次々に懐かしい歌を合唱。あっという間に時は過ぎ、30分間の時間延長。まだまだ心残りはありましたが、再会を約して散会となりました。

50年という年月を瞬時に飛び越えて寮生活に戻り、 語り合い、歌った、真に楽しい、素晴らしい半日でし た。

[幹事:和泉勝一(農S43卒)]



学









私の大学4年間

生物生産学科 作物生産学講座 熱帯作物学研究室

岩永 響希

私の大学4年間は「夢」を探す旅だった。

私は4年前鹿児島大学農学部に入学した。夢は1つも 語れなかった。夢を見つける努力もせず、只々暇を持 て余すばかりで、貴重な大学2年間を無駄にしてしまっ た。

3年に進級し、熱帯作物学研究室へ配属されることに なった。その研究室は日本の農業だけでなく世界の農 業、食糧問題、貧困問題についても研究していた。当 初、私を除く同期生は世界に強く関心を持ち、目を輝 かせていた。日本で生きていけさえすれば、世界の問 題がどうなろうと私には関係ない、そう考えていただ けに、意識の異なる彼らに衝撃を受けた。そして同時 に、私の知らない世界をたくさん知っている彼らに羨 望の眼差しを向け、同じ土俵に立てていない自分、そ して2年間を無駄にしてしまった自分が情けなくなった。 そこで、世界を知る彼らに少しでも追いつこうと考え、 大学が開講している海外研修に参加した。日本にいる だけでは絶対にできない体験の数々。研修中は絶えず 興奮状態で、全てが新鮮だった。その国の文化や政治、 農業、人々の生活など様々なことを学んだが、正直、 何より心に深く残っているのは現地の小学生とサッカー をしたことだった。彼らは終始笑顔で、その笑顔に私 の心は奪われてしまった。「世界中の子どもたちの笑顔 を見たい。私が食糧問題を解決して、彼らの日常を笑 顔いっぱいにしたい。」私は夢を持った。

私は卒業論文のテーマにイネを選択した。イネは世界三大穀物の1つとして世界の様々な地域で栽培されていることもあり、私の研究ならば、きっと世界中の子どもたちを笑顔にできる、幸せにできると信じている。今後は大学院に進学し、研究の対象地域へ留学する予定だ。夢を夢のままで終わらせない。私が食糧問題を解決してみせる。私に夢をもたらしてくれた多くの出会いに感謝。



14年間の集大成

生物資源化学科 焼酎学コース 醸造微生物学研究室

合原 翔平

私の大学生活四年間の思い出は9歳から始めた剣道を 大学4年間でも続け、多くの行事や大会、日々の練習を 通して学び楽しんだことが一番に出てきます。

剣道部に入部してから日々の稽古を重ね、一年生の9月にAチームの補欠として全国大会の予選となる全九州学生剣道優勝大会に出場しました。チームは一回戦で負けてしまい補欠ながらに非常に悔しい思いをしたことを覚えています。

しかし、それから一年後の同じ大会において補欠ではなくレギュラーメンバーとして参加し、チーム一丸となって予選を突破することができました。その試合のことは今でも鮮明に覚えています。

その後、二年生の時から四年生の時まで三年連続で全国学生剣道優勝大会に出場することができたことは何よりもうれしかったですが、この大会に出場するにあたって最も感じたことが周りの方の支援のありがたさです。全国大会は東京の日本武道館か大阪の大阪府立体育館で一年ごとに交代で行われるのですが、交通費や宿泊費、大会参加費など決して安くはない金額が必要になります。その際剣道部 0B 会や大学からの補助や両親からの援助も受けながら本当に多くの支えを受けて参加ができることを身に染みて感じました。特に今年は熊本の地震によって私の同級生や先輩、後輩にも被害を受けた者が多くいましたがそんな中でも参加することができ、感謝の気持ちをより大きく抱きました

全国大会への出場以外にも学祭への参加や、夏の合宿、各種大会への参加など綴りたい思い出はたくさん ありますがそれら全てが忘れられない思い出になっています。

何よりも9歳から始めた剣道を大学4年生までの14年間 何不自由なく剣道をさせてくれた両親をはじめとする 関わっていただいた周囲の方々への感謝を実感した部 活での経験が何よりの思い出です。



大学生活を振り返って

生物環境学科 森林科学コース 育林学研究室

4年生 李 彰仁

大学生活の終わりが近づいた今、大学生活を振り返ってみると、全てのことがあっという間に過ぎていった気がします。こうして振り返ってみて、大学に入ってよかったなと思う事は二つあります。

一つは勉学の面です。植物や農学について何も知らないにも関わらず、なんとなく植物に興味があるという理由だけで農学部にきた自分にとって、初期の方はうまくやっていけるかどうか不安でした。しかし2年生からコースに配属されて、その分野を研究して何十年というスペシャリストである先生達の講義を聞き、実習などをしていくうちに無学であった自分でも、何となく専門分野のことが分かるようになりました。さらに3、4年で研究室に配属され、ゼミ発表や卒業論文の作成を通して日常的に専門分野に触れることで、大学に入る前と比べると大分色々なことが分かるようになりました。このように、専門分野をプロの先生からりました。このように、専門分野をプロの先生からたと思います。

もう一つ大学に来てよかったと思うのは出会いの面です。大学生活で、部活に入り、アルバイトもして、研究室にも配属され、さらに農学部の集中講義では海外にも行かせてもらいました。このように様々なコミュニティーで、色々な人たち出会いました。そこで出会った人達はみんな本当に良い人たちばかりでした。また、このように色々な人たちと出会い、話をすることで狭かった自分の視野が広がっていくのを感じました。自分が今まで知らなかったこと、一人では思いつかないであろう発想、自分とは全く異なる考え方や価値観などに若いときに触れることが出来て良かったと思います。



6年間を振り返って

獣医学科 病態予防獣医学講座 寄生虫病学分野

水野 真伸

これまでの人生の中でもとても充実した時間だった 大学6年間を振り返っていきたいと思う。

大学生前半の1~3年生では大学での勉強に悪戦苦闘しながらも、アルバイト、サークル活動と様々な経験をすることができた。アルバイトでは接客などを通して仕事に対する責任感や不測の事態への対応などの、社会人になる上で基本的なことを学ぶ機会が多くあり、卒業後も生かしていける重要なスキルを身に着けることができたと思う。また、入学前までは人見知りで人との交友関係がそれほど得意でもなかったが、サークル活動を通して、初めて会う人とも同じ目標に向かっていく機会が増えて他サークルの人も含め多くの人と交流を持てるようになった。さらに、その中でも特に親友と呼べるようなかけがえのない友人を得ることができた。

4~6年生では研究に力を入れて日々を過ごした。研究室に所属するときには漠然としか進路を考えていなかったのだが、研究を実際に始めてみるととても面白く、自分なりに成果を出したり考察をしたりといったことが楽しかった。卒業論文のテーマが決まって、研究室の仲間やたくさんの先生に手助けをもらいながら実験をし、結果が出てからは既出の論文を地でもないらいできたともも最後まで楽しては解釈が難しいところに詰まりながらも最後まで楽しく研究をするらに詰まりながらも最後まできたできた、全国規模の学会に出させてもの究を発信する貴重な機会もいただくことができたとなるだけでなく、研究以外のことにも必要なことができたとても有意義な時間だったと思う。

大学6年間は、たくさんのことに挑戦し、いろいろな 失敗をして、多くの人に助けられた大学生活だったと 思う。卒業後はこの経験を生かしてさらに自分を磨い ていくとともに、たくさんの人の助けになるような人 間になっていきたいと思う。

恩師・同窓のお慶び並びに訃報

先生の退職・新任・昇任

【農学部】

【定年退職】

なし

【昇任】

なし

【辞職】

久保 達也 平成28年7月31日付

(農業生産科学科応用植物科学コース 准教授)

【新任】

河野 澄夫 平成28年6月1日付

(農学部 特任教授)

藪田 伸 平成28年8月1日付

(国際食料資源学特別コース 特任講師)

【共同獣医学部】

【定年退職】

なし

【昇任】

なし

【辞職】

堀江 真行 平成28年12月1日付

(附属越境性動物疾病制御研究センター 特任助教)

【新任】

有村 卓郎 平成28年4月1日付

(獣医学教育改革室 准教授)

松鵜 彩 平成28年4月1日付

(附属越境性動物疾病制御研究センター 准教授)

乙丸孝之介 平成28年4月1日付

(附属動物病院 准教授)

齋藤 靖生 平成28年4月1日付

(附属動物病院 助教)

永井 克尚 平成28年5月1日付

(共同獣医学部 特任助教)

高橋 香 平成28年7月1日付

(附属動物病院 特任助手)

一二三達郎 平成28年8月1日付

(共同獣医学部獣医学科病態予防獣医学講座 特任助教)

古澤 悠 平成28年9月1日

(附属動物病院 特任助手)

井尻 萌 平成28年11月1日付

(共同獣医学部 特任助教)

【連合農学研究科】

【昇任】

寺田 竜太 平成28年4月1日付

(連合農学研究科 教授)

受 賞

【農学部】

大塚 彰 (食料生命科学科) 平成28年3月28日

: Animal Science Journal Excellent Paper Award

鵜川 信 (農林環境科学科) 平成28年4月4日

: "Ecological Research Award, 2015

第16回 Ecological Research 論文賞"

二神 泰基 (食料生命科学科) 平成28年1月23日

: 平成27年度日本農芸化学会西日本支部奨励賞

平成28年11月18日:第16回糸状菌分子生物学コンファ

レンス 企業特別賞 いいちこ特別賞

寺本 行芳 (農林環境科学科) 平成28年10月29日

: 平成28年度日本雨水資源化システム学会賞(奨励賞)

清水 圭一・橋本文雄・岡本 繁久 (農業生産科学科)

平成28年10月29日:平成27年度園芸学会優秀論文賞

【共同獣医学部】

大和修 (臨床獣医学講座) 平成28年10月16日

:日本小動物獣医学会九州地区学会 フレッシャーア

ワード (代表 神山萌子)

物故者名簿

謹んで哀悼の意を表します

故人	氏名	科•卒年	死亡年月日	ご遺族の住所およびご遺族名		
馬場	威	旧賛助	Н. 28. 1. 25	大阪府泉南町信達市場893-3-504	子息	
前 田	高 伸	A. S. 1 3	Н. 28. 2.4	福島市野田町谷地5-33	子息	
村田	圭 介	A. S. 1 7	Н. 25. 9. 12	福岡県糸島市前原東1-4-1-403	夫人	悦子
小 野	一男	A. S. 18	Н. 26. 6. 15	鹿児島県日置市日吉町日置593	夫人	
樋口	泰三	A. S. 18	Н. 26. 6. 25	長崎県諫早市真崎町171 山口様方	令嬢	
井 上	二樓	A. S. 2 0	Н. 27. 10. 21	兵庫県尼崎市東難波町4-5-25	子息	
林	文 雄	A. S. 22	Н. 26. 7.2	鹿児島市東谷山5-14-22	夫人	和子
荒 武	勇 雄	A. S. 2 3	Н. 28. 4.11	千葉市中央区花輪町38-111	子息	
大 石	康 治	A. S. 2 6	Н. 29. 1.28	鹿児島市日之出町32-11	夫人	淳子
重 永	知 明	A. S. 28	Н. 27. 5.8	熊本市武蔵ケ丘6-2-19	夫人	貴以
柳田	良雄	A. S. 28		鹿児島市上之園町4-1		
古田	勝己	A. S. 28	Н. 27. 9. 3	熊本県合志市須屋3117-11		
田畑	時男	A. S. 3 7	Н. 27. 9. 5	鹿児島市桜ケ丘3-29-6	弟	
樋口	一正	A.S. 44	Н. 26.	大分県津久見市津久見8231	夫人	
畑中	幹信	A. S. 4 7	Н. 27. 8	福岡県宗像市用山153	夫人	春代
東	巌 夫	F.S. 20	Н. 28. 4. 5	東京都大田区南馬込5-42-20グランダ西馬込420	令嬢	暁子
永 渕	郁 郎	F. S. 2 3	Н. 26. 11.5	神奈川県横浜市港南区下永谷5-33-11	子息	
前田	昇三郎	F.S. 24	Н. 26. 6.4	鹿児島県姶良郡姶良町平松7636-12	夫人	エミ子
浅 野	星 斗	F. S. 24		熊本県八代市袋町2-1		
上薗	晃	F. S. 24		鹿児島県日置市東市来町伊作田1503		
植松	勇 雄	F. S. 24		千葉県船橋市夏見3-9-27		
宇野	直純	F.S. 24		群馬県桐生市菱町4-2359		
原田	富 夫	F.S. 24		熊本市神水1-19-32		
武田	勝雄	F.S. 25	Н. 27. 8. 6	神奈川県川崎市多摩区登戸415-101	子息	一郎
三重	慎一郎	F.S. 28	Н. 13. 8. 20	鹿児島市西坂本町41-7		
川崎	信義	F. S. 4 1	Н. 25. 11	福岡市東区美和台2-21-5	夫人	
南田	健一郎	F. H. 3	Н. 27. 12. 14	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉569-25	母	
中島	巖	S. S. 2 6	Н. 24. 5. 16	熊本県球磨郡山江村山田丁2968-1	夫人	
山 田	博	C. S. 2 3	Н. 26. 4.8	熊本県人吉市鬼木町594-1	夫人	郁子
江 上	光一	C. S. 3 7	Н. 25. 10. 8	福岡県久留米市田主丸町志塚島-1	夫人	育子
島田	清弘	C. S. 3 8	Н. 27. 5. 5	佐賀県神埼市神埼町本告牟田鶴田2943-8	夫人	
内山	悦子	C. S. 5 5	Н. 24. 6.	熊本県玉名市築地986-10	夫	
菅 野	壽一	V. S. 3 5	H. 28. 4.8	福岡県田川市伊田3979-1		
肝付	兼次郎	V. S. 4 2	Н. 27. 4.	栃木県宇都宮市一条3-3-26	夫人	
永田	竹四郎	V.S. 44	Н. 27. 5. 11	熊本市池上町1336-2	夫人	
磯田	尚武	G. S. 3 4	Н. 28. 2. 9	熊本県八代市千丁町吉王丸193	夫人	朋子
後藤	圭 志	G. S. 3 5		熊本県玉名市山田1836-111	夫人	紘子
原田	嘉 章	G. S. 3 6	Н. 26. 1.8	山口市小郡高砂町7-3-704	令嬢	
沢田	正弘	G. S. 38	H. 24. 11.14	福岡県豊前市今市帯田765-22	夫人	
増永	藤博	G. S. 38	Н. 25. 6. 8	大阪市住吉区山之内5-3-23	夫人	
若 松	譲二	Z. S. 4 4	Н. 28. 11.4	鹿児島市明和1-42-7	夫人	幸代
沖	網 夫	E. S. 2 6	Н. 28. 5. 3	鹿児島県垂水市市来421-11	令嬢	まりこ
杉田	雄三	資 H 15	Н. 26. 8. 27	福島市宮代田尻19-1	父 -	一誠

本部便り

1. 運営の健全化事業の経過報告

鹿児島大学農学部、鹿児島農林専門学校および鹿児島高等農林学校の卒業生で組織する「鹿児島大学農学部あらた同窓会」(現在まで約2万人の卒業生を輩出し、それぞれが国内外で活躍しています)の運営は会員の年会費をはじめ新入生(学生会員になります)が納付する入会金・会費などを主な財源としています。しかし、近年、本会の年会費の納付者数は、明確に漸減傾向が認められ、平成21年度から会計収支が赤字に転じ、その後も2年間赤字が続きました。

これまで、あらた同窓会では、幹事会→評議員会→ 総会で「会計の健全化」について協議を行い、定期刊 行物の「あらた同窓会報」を所在の確実な全ての会員 に頒布することによって、本会並びに母校と会員ある いは会員相互の意思疎通を盛んにするとともに、全員 参加型のあらた同窓会を再生し、会計の健全化を達成 しようという趣旨のもと、平成23年度にはあらた同窓 会報の頒布に関して過去に設けた規定「直近の5年間に 会費納付実績のある会員に会報を頒布する」を撤廃す ることを申し合わせました。そして、平成24年度には 昭和45~50年の6年間の卒業生全員に、平成25年度には 昭和40~50年代の卒業生全員に、平成26年度には平成9 年以前の卒業生全員に、さらに昨年平成27年度には連 絡先が判明している卒業生全員に会報を頒布いたしま した。具体的には、平成23年度には約2,611名であった 頒布先は、平成年度には3,045名、平成25年度には4,563 名、平成26年度には6,828名、そして平成27年度には 8,400名となりました。会費納入者数は平成23年度983 名、平成24年度947名、平成25年度1,210名、平成26年 度1,165名、平成27年度1,304名と漸増しました。加え て、平成26年度には頒布者の増加による印刷経費並び に郵送経費の増額に対応するために、単年度の「会報 賛助金」への浄財を要請し、250余名の方々から多額の 浄財をいただきました。

しかし、「あらた同窓会報」春季号の印刷及び発送に要する経費は平成23年度の約93万円から次第に増加し、平成27年度には約216万円にまで増加しました。そして、平成27年度の学生会員向けの秋季号と卒業生名簿の印刷経費を加えた「会報等印刷・郵送経費」の総計は約256万円となり、会費等収入総額の約55%を占め、同窓会会計を大きく圧迫するようになりました。このような状況に関しては、会計監査を行っていただいた監事からも「同窓会活動は活発に行うべきであるが、会費

収入に見合った活動を行うように」と口頭による申し 入れがありました。

そこで、あらた同窓会では、幹事会で議論し、平成27年度に決めた「連絡先が判明している卒業生全員に会報を頒布する」制度を改善することを評議員会で認めていただきました。その上で、幹事会では平成28年度春季号(平成29年3月発行)は、平成23年度の会報頒布先の「直近の5年間に会費納付の実績を有する者」、「80歳以上の会員」、「終身会員」、「賛助会員」及び「学生会員」と、可能な限り多くの会員に農学部と同窓会の近況、地域支部会やクラス会の情報など情報をお届けするという趣旨で、卒業後5(H. 24卒)、10、15、20、25、30、35、40、45、50(S. 37卒)年を経過した5年毎の連絡先が判明している会員(約1,300名)に会報を頒布することにいたしました。

以上のように、あらた同窓会では「同窓会活動の本質」である「会員相互の交流の拡大」や将来的には「全員参加型の同窓会に再生」すると同時に「運営の健全化」を図っていきたいと考えています。そのためには、「会費納入」、「支部活動」および本部活動などに、できるだけ多くの会員の皆様の参加・ご協力が必要です。会員皆様方の積極的な参加によって「あらた同窓生の絆」がさらに強まり、「あらたの伝統」が次世代へ継承されると確信しています。

このように、「あらた同窓会」としては、新しい時代の同窓会の構築を目指して今後も事業を進めて参りますが、いまだ大半(約80%)の会員は年会費未納であります。今後の健全運営には、会費納付率の向上と会費収入の改善が喫緊の課題であることを会員に訴え、改善への協力を要請する次第です。

Ⅱ. 事業及び会計に関する報告

1. 平成28年度総会

平成28年度総会は、平成28年11月23日、15:00から 19:00、鹿児島市上荒田町のジェイドガーデンパレス において開催されました。

1) 講演会 (15:00~16:00)

恒例の講演会は、「あらた同窓 OB・OG の活躍」というテーマで、鹿児島県農業開発総合センター・研究専門員・池澤和広氏(農学科・H. 2卒)による"一社会人入学制度を活用した鹿児島大学大学院連合農学研究科でのチャレンジー常識が常識でなかった!「サトイモの湛水栽培に関する研究」で学んだこと"の講話であっ

た (講演要旨は本誌5頁参照)

2) 総会 (16:00~17:00)

藤田晋輔会長、岩井 久農学部長および前田芳實学 長の挨拶に続き、議長として内 國弘氏(農学科S33) が選出され、内 議長のもとで下記の議案について事務 局の趣旨説明を行い、審議の結果、いずれの議案も意 義なく承認されました。

承認議案は以下のとおりです。

- (1) 平成27年度の事業報告(案)、一般会計収支決算 (案)、名簿特別会計収支決算(案)、功労者表彰特別会 計収支決算(案)並びに監査報告
- (2) 平成28年度の事業計画(案)、一般会計収支予算 (案)、名簿特別会計収支予算(案)並びに功労者表彰特別会計収支予算(案)

2. 評議員会

平成28年度評議員会は、11月2日 (水)、17:30から あらた記念会館で開催されました。

藤田晋輔会長並びに岩井久学部長の挨拶の後、会長 が議長を務め、総会に付議する事項等について審議が 行われました。

審議では、最初に平成27年度の事業報告(案)、一般会計収支決算(案)、名簿特別会計収支決算(案)、功労者表彰特別会計収支決算(案)について事務局の説明があり、続いて監事から会計監査報告の説明の後、一括して質疑応答が行われ、いずれの議案も承認されました。

次に、平成28年度の事業計画(案)、一般会計収支予 算(案)、名簿特別会計収支予算(案)並びに功労者表彰 特別会計収支予算(案)について、事務局の説明があり、 審議では一般会計の会費収入と支出について質疑応答 が交わされました。その中で、事務局から平成27年度 評議員会で承認された「会費の納入の有無を問わず、 連絡先が判明している卒業生全員に会報を頒布」に基 づき、連絡先判明者8,400人に会報を頒布したこと、そ の結果、平成27年度春季号の印刷および郵送料等が約 216万円まで増加し、学生会員向けの秋季号と卒業生名 簿の印刷経費を加えた平成27年度の会報等印刷経費の 総計が約256万円となり、会費等収入総額の約55%を占 め、同窓会会計を大きく圧迫したことの説明があり、 同窓会会計の赤字防止のために、平成28年度には会報 頒布先について、幹事会で再検討させていただきたい 旨の提案があり、種々議論の後、承認されました。

さらに、役員の選任について事務局の説明がなされ、 原案どおり承認されました。

3. 常任幹事会及び幹事会

常任幹事会及び幹事会は合わせて4回開催され、会報の編集及び発行、評議員会に付議する議案書の作成、講演会の企画・実施、同窓会運営の健全化方策ならびにホームページの管理等について協議が行われました。平成28年度も随時開催して、本会の事業の企画・実施等について協議を行います。

4. 会計監査

平成27年度の会計監査は平成28年10月12日に3名の 監事によって実施され、本会の事業および会計事務が 適切に執行されている旨の監査報告書が会長宛に提出 されました。加えて、同窓会活動は活発に行うべきで あるが、会費収入に見合った活動を行うようにと口頭 で申し入れがあった。

平成28年度の会計監査は平成29年10月に実施する予定です。

5. 会報の発行

あらた同窓会報は、平成28年3月25日に春季号、平成28年11月23日に秋季号を発行しました。

春季会報は、平成27年度評議員会の承認を受けて、「会費の納入の有無を問わず、連絡先が判明している卒業生全員に会報を頒布」に基づき、連絡先判明者8,400人に会報を郵送で頒布したほか、在学生、教職員に頒布しました。学生会員を対象に発行している秋季号は、学生会員全員と農学部および共同獣医学部教員の他、地域支部総会時に出席者である一般会員に頒布しました。

平成29年春季号は、「直近の5年間に会費納付の実績を有する者」、「80歳以上の会員」、「終身会員」、「賛助会員」及び「学生会員」と、可能な限り多くの会員に農学部と同窓会の近況、地域支部会やクラス会の情報など情報をお届けするという趣旨で、卒業後5 (H. 24卒)、10、15、20、25、30、35、40、45、50 (S. 37卒)年を経過した5年毎の連絡先が判明している会員(約1,300名)に会報を頒布する予定です。

6. 講演会

本会と農学部共催の恒例の「学生向け講演会」は平成28年7月28日、16:10~17:30に農・獣医共通棟101号教室において"テーマ 「海外で経験し、学ぼう」ー高等農林学校建学の精神からー"というテーマで開催し、グローバルセンターの畝田谷桂子先生と海外研修や留学体験者4人の学生に体験段を話していただきました。出席者は学生、教職員合わせて70数名でした。

11月23日の平成28年度本部総会時に行われた恒例の

講演会は、「あらた同窓 OB・OG の活躍」というテーマで、鹿児島県農業開発総合センター・研究専門員 池澤和広氏(農学科・H. 2卒)による"一社会人入学制度を活用した鹿児島大学大学院連合農学研究科でのチャレンジー常識が常識でなかった!「サトイモの湛水栽培に関する研究」で学んだこと"の講話で、約60名の聴講者がありました(講演要旨は本誌5頁参照)。

7. 地域支部との交流

本会は、地域支部から役員派遣の要請を受けた場合、本部役員あるいは学部教員を派遣し、支部会員との交流を図ります。平成27~28年度現在までの派遣先は、近畿・兵庫あらた会、佐賀あらた会、熊本あらた会、宮崎あらた会、鹿児島あらた会、鹿児島市役所支部でした。

8. 鹿児島大学同窓会連合会の事業

1) 鹿児島大学同窓会連合会の構成同窓会として、4月の入学式に合わせて開催される「鹿児島大学同窓会連合会・総会および懇親会」には、積極的に参加し、鹿児島大学との連携の維持発展に貢献しました。年3回開催予定の役員会(会長と常任副会長が出席)および幹事会(常任副会長が出席)にも、積極的に出席し、他学部同窓会との情報交換を活発に行うとともに、大学が行っている各種取り組みには可能な限りの協力を行いました。

同窓会連合会が年2回発行している「鹿児島大学同窓

会連合会報」には「あらた同窓会活動」について寄稿するとともに、発行された会報については、本部総会及び地域支部総会の出席者に頒布し、鹿児島大学および各学部同窓会活動の広報に寄与しました。今後、頒布を希望される方はその旨、連合会本部事務局(Tel:099-275-6881, Fax:099-265-9784、 e-mail:kakuryo@kufm.kagosima-u.ac.jp)、あらた同窓会本部事務局(Tel/Fax:099-285-8537、 E-mail:aratakai@mc 2. seikyou.n e.jp) までご連絡ください。

2)『鹿大「進取の精神」支援基金』への取り組みについて:「鹿児島大学同窓会連合会」を通じて、各同窓会に協力が求められています。本基金は、鹿児島大学の教育・研究に対する取り組み強化の目的でありますので、同窓会連合会は、基金の趣旨に賛同し、同窓生への呼びかけを行っています。あらた同窓会としては同窓会連合会の構成員の一団体であることから協力して行くことにしていますが、財政逼迫の折から協力の方法について、幹事会、評議員会および総会で十分に協議しました。その結果、財政の健全化を図りつつ、数年に分割するなどして協力していくことを確認しました。

9. その他

同窓会財政が逼迫している現状から、「常任幹事への 手当の支給停止」、「事務員の雇用形態の一時的縮小」 と会費納入促進策を検討・実施し、財政改善を図るこ とを評議員会に提案しました。種々の議論の後、当面 やむを得ない措置として了承されました。

同窓会への寄付者ご芳名

学科卒年		氏	名	
旧賛助	竹	田	靖	史
AS 32	赤	池	玉	盛
AS 33	有	村	憲	_
AS 33	小	野		東
AS 44	石	原		宏
AS 55	津	田	勝	男
AS 59	田	浦		悟
FS 24	加	藤	敏	雄
FS 25	原	П		昭
FS 26	安	武义	欠郎	太
FS 31	野	П	英	昭
FS 33	高	畑		博

学科卒年		氏	名	
FS 34	松	田	健	_
FS 35	落	合	寅	夫
FS 36	後	藤	幸	夫
FS 44	下	Щ	悦	郎
CS 31	丸	Щ	耕	治
CS 42	古	Ш	三	盛
CS 50	西	澤	保	孝
CS 58	樗	木	直	也
CS 59	南		雄	$\vec{=}$
SS 26	Л	尻	幸	夫
SS 35	林			満
VS 29	小	Щ	鉄	男

学科卒年		氏	名	
VS 35	菅	野	壽	_
VS 45	村	Щ	敬	_
GS 36	岩	切		貢
GS 38	持	留	忠	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$
ZS 47	行	Ī	弋	博
ZS 61	Щ	П	美	枝
ES 62	平		瑞	樹
ЕН 5	末	吉	武	志
HS 48	富	永	茂	人
環 H 7	寺	本	行	芳
MAS 59	遠	城	道	雄
鹿児島大学	2農業		或研?	完会

あらた同窓会役員名簿

H. 28. 4. 1現在

_		
名誉会長	赤崎 義則 (農23)	
顧問	岩井 久 (農55)	
会 長	藤田 晋輔(林37)	
副会長	浮津 護 (林38)	池端 裕昭(農47)
	上林房 行信(農工51)	冨永 茂人 (常任・園48)
監 事	吉山 安夫 (蚕40)	下川 悦郎 (林44)
	菊川 明(農48)	
常任幹事		
庶務担当	田浦 悟(農59)	南 雄二 (化59)
会計担当	末吉 武志 (農工平5)	
会報担当	樗木 直也(化58)	遠城 道雄(院農59)
	寺本 行芳 (環平7)	
名簿担当	津田 勝男(農55)	
広報担当	平 瑞樹(農工62)	
幹事	坂井 教郎 (賛助)	清水 圭一(賛助)
	岡 勝 (林55)	大塚 彰(畜平1)
	窪田 力(獣平2)	髙山 耕二 (院生平8)
	三浦 直樹(獣平9)	
評 議 員	内 國弘 (農33)	脇 秀一郎(農41)
	東 孝行(農46)	西田 和夫 (農57)
	溝添 俊樹(林41)	大坪 弘幸(林45)
	永田 鉄山(蚕30)	林 満(蚕35)
	大岩 勝徳(蚕36)	稲永 醇二 (化42)
	吉満 浩一郎 (化59)	堀之内 達男 (獣33)
	松元 計士 (獣36)	新納 時英 (獣44)
	高橋 亘(獣46)	中村 博大 (畜43)
	東久保 研一(園48)	大久保 祐司 (生平6)
	石橋 松二郎(資平6)	
	各地域支部長 (役職指定) 農学部區	学部長および学科長(役職指定)
	鹿児島支部幹事(役職指定)

平成27年度一般会計決算書

収入額 6,017,105円 支出額 5,983,714円 繰越金 33,391円

収入の部

項目	予算額	決算額	差 異	
会費	5,480,000	4,795,752	684,248	
年会費	3,000,000	2,607,752	392,248	延べ 1304名
入会金				新入会員11名(33,000)
				在校生 28名(280,000)
	2,080,000	1,983,000	97,000	新入生167名(1,670,000)
懇親会費	400,000	205,000	195,000	総会会費(41人分)
会報賛助金	0	11,000	△11,000	拠出者 3名
雑収入				寄附金(292,000)
				出版物(13,000)
	10,000	305,444	△295,444	利子(144)
繰越金	602,186	602,186	0	
繰入金				基金より300,000
	303,000	302,723	277	基金利子2,723
合計	6,395,186	6,017,105	378,081	

支出の部

項	文山の市				
総会費	項目	予算額	決算額	差異	
役員会費					
事業費 3,140,000 3,103,575 36,425 学生向け会報 332,640 春季号会報 702,000 春季号会報 702,000 交部交付金 振本林務(10,400) 広島(4,800) 近畿(4,000) 坂庫(4,400) 坂庫(4,400) 坂市(4,700) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 坂市(4,100) 近畿(4,000) 近畿(4,000) 近畿(4,000) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 平成31年度実施予定 常任副会長360,000 常任財事(20,000×1名) 常任副会長360,000 常任財事(20,000×8名 総計(4,100) 第6日会長360,000 常任財事(20,000×8名 総計(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 近畿(4,100) 世界(4,100) 世界(4,100)					
中刷費			73,937		幹事会,会計監査,評議員会
1,100,000 1,034,640 65,360 春季号会報 702,000 支部交付金 300,000 0 成島(4,800)		3,140,000	3,103,575	36,425	
文部交付金	印刷費				
大部交付金		1,100,000	1,034,640	65,360	春季号会報 702,000
広島(4,800) 近畿(4,000) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 廃児島(165,600)	卒業祝賀会費	300,000	300,000	0	
近畿(4,000) 兵庫(4,400) 兵庫(4,400) 疾庫(4,400) 疾庫(4,400) 疾庫(4,400) 廃理島(165,600) 支部総会出席等 熊本(30,880) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) を報給量(1,239,155) 諸漢会費 40,000 20,000 20,000 講師謝礼等(20,000×1名) 功労者素積立金 50,000 50,000 0 平成31年度実施予定 事務局費 1,837,000 1,775,579 61,421 役員報酬 520,000 520,000 0 常任幹事20,000×8名 衛金 800,000 953,450 △153,450 607,270(10ヶ月分) 備品費 100,000 0 100,000 消耗品費 30,000 29,932 68 事務用品等 光熱水費 100,000 91,673 8,327 電気(83,337)上下水道(8,336)等 インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) ながと発酵費 0 0 0 0 全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 100,000 経費 30,000 20,000 0 第位幹事20,000×8名 電話(78,005)切手(6,007) インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) インターネット接続料(20,736) カーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(4,680)送料(144)等 優中費 30,000 0 30,000 全時間密会分担金 100,000 100,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	支部交付金				熊本林務(10,400)
大庫(4,400) 大庫(4,400) 大庫(4,400) 大庫(4,400) 大藤貴 大藤(30,880) 大藤(41,700) 大藤(41,239,155) 大藤(41,239,1					
大き 10,000 189,200 10,800 鹿児島(165,600) 支部総会出席等 熊本(30,880) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 佐賀(36,960) 佐賀(36,960) 全報総量(1,239,155) 1,200,000 1,318,115 公118,115 振込み手数料(78,960)等 諸演会費 40,000 20,000 3					近畿(4,000)
旅費 支部総会出席等 熊本(30,880) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 任賀(36,960) 会報総量(1,239,155) 振込み手数料(78,960)等 講演会費 40,000 20,000 3 講師謝礼等(20,000×1名) 功芳表彰積並金 50,000 50,000 0 平成31年度実施予定 事務局費 1,837,000 1,775,579 61,421 常任副会長360,000 常任幹事20,000×8名 65金 800,000 953,450 △153,450 607,270(10ヶ月分) 607,270(1					兵庫(4,400)
熊本(30,880) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 後妻総量(1,239,155) 会報総量(1,239,155) 法込み手数料(78,960)等 講演会費 40,000 20,000 講師謝礼等(20,000×1名) 功芳表彰積立金 50,000 50,000 0 平成31年度実施予定 事務局費 1,837,000 1,775,579 61,421 常任副会長360,000 常任幹事20,000×8名 64,21 常任副会長360,000 常任幹事20,000×8名 66,2000 607,270(10ヶ月分) 607,		200,000	189,200	10,800	鹿児島(165,600)
長崎(41,700) 近畿・兵庫(82,080) 住賃(36,960)	旅費				支部総会出席等
250,000					
250,000					
通信運搬費					近畿・兵庫(82,080)
通信運搬費		250,000	191,620	58,380	佐賀(36,960)
1,200,000	通信運搬費				会報総量(1,239,155)
講演会費		1,200,000	1,318,115	$\triangle 118,115$	振込み手数料(78,960)等
小労者表彰積立金 50,000 50,000 0 平成31年度実施予定 事務局費 1,837,000 1,775,579 61,421 常任副会長360,000 第任幹事20,000×8名 620,000 520,000 0 常任幹事20,000×8名 645等346,180(7ヶ月分) 61,421 620,000×8名 645等346,180(7ヶ月分) 61,421 620,000×8名 645等346,180(7ヶ月分) 61,421 620,000×8名 645等346,180(7ヶ月分) 61,421 620,000 62,452 620,000 62,452 620,000 62,472 620,000 62,472 620,000 62,472 620,000 62,472 620,000 62,472 620,000 62,472 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 62,592 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,000 620,	講演会費				講師謝礼等(20,000×1名)
役員報酬 520,000 520,000 0 常任副会長360,000 常任幹事20,000×8名 64 550,000 953,450 △153,450 607,270(10ヶ月分) 709,200(83,337)上下水道(8,336)等 729,200(83,337)上下水道(8,336)等 729,200(83,337)上下水道(8,336) 729,200(83,337)上下水道(8,336) 729,200(83,337)上下水道(8,336) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,337) 729,200(83,37	功労者表彰積立金	50,000	50,000	0	
520,000 520,000 0 常任幹事20,000×8名 100,000 953,450 △153,450 607,270(10ヶ月分)	事務局費	1,837,000	1,775,579	61,421	
賃金	役員報酬				常任副会長360,000
800,000 953,450 △153,450 607,270(10ヶ月分) 備品費 100,000 0 100,000		520,000	520,000	0	常任幹事20,000×8名
備品費 100,000 0 100,000 消耗品費 30,000 29,932 68 事務用品等	賃金				給与等346,180(7ヶ月分)
消耗品費 30,000 29,932 68 事務用品等 光熱水費 100,000 91,673 8,327 電気(83,337)上下水道(8,336)等 インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) 200,000 124,472 75,528 ハガキ(4,680)送料(144)等 優弔費 30,000 0 30,000 会館修繕費 0 0 0 全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 和歌(2,592) 一次金貨(20,409) 100,000 110,623 △10,623 寸志(49,622)等 練出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 2,582 千分(4,680) 4,000(2000円×148) 168,186 0 168,186 168,186 0 168,186 0			953,450	$\triangle 153,450$	607,270(10ヶ月分)
光熱水費 100,000 91,673 8,327 電気(83,337)上下水道(8,336)等 通信運搬費 インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) 200,000 124,472 75,528 ハガキ(4,680)送料(144)等 賃借料 57,000 56,052 948 会館建物使用料 度弔費 30,000 0 30,000 会館修繕費 0 0 0 全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 和書 100,000 110,623 △10,623 寸志(49,622)等 練出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186		100,000		100,000	
通信運搬費 インターネット接続料(20,736) サーバー使用料(10,584) 電話(78,005) 切手(6,007) スプキ(4,680)送料(144)等 (4,680)送料(144)等 (4,680)	消耗品費	30,000	29,932		
世ーバー使用料(10,584) 電話(78,005)切手(6,007) ハガキ(4,680)送料(144)等	光熱水費	100,000	91,673	8,327	
200,000 124,472 75,528 元が7,6005)切手(6,007) 7ガキ(4,680)送料(144)等 賃借料 57,000 56,052 948 会館建物使用料 会館修繕費 0 0 0 全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 日窓会連合会懇親会費負担金 34,000(2000円×14名 6000円×1名 出版物(2,592) データ復旧代(20,409) データ復旧代(20,409) 大備費 168,186 0 168,186 0 168,186 124,000 168,186 0 168,186 0 168,186 0 168,186 0 168,186 0 168,186 10 10 10 10 10 10 10 1	通信運搬費				
200,000					
賃借料 57,000 56,052 948 会館建物使用料 慶弔費 30,000 0 30,000 会館修繕費 0 0 0 全門窓会分担金 100,000 100,000 0 雑費 同窓会連合会懇親会費負担金 100,000 110,623 公10,623 一ヶ夕復旧代(20,409) 一夕復旧代(20,409) 一夕復旧代(20,409) 季備費 168,186 0 168,186					
慶弔費 30,000 0 30,000 会館修繕費 0 0 0 全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 雑費 同窓会連合会懇親会費負担金 100,000 110,623 出版物(2,592) データ復旧代(20,409) 参出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186					
会館修繕費			56,052		会館建物使用料
全学同窓会分担金 100,000 100,000 0 同窓会連合会懇親会費負担金 34,000(2000円×14名 6000円×1名) 出版物(2,592) データ復旧代(20,409) 寸志(49,622)等 練出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186					
雑費			v		
34,000(2000円×14A 6000円×1名) 出版物(2,592) データ復旧代(20,409) 寸志(49,622)等 練出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186		100,000	100,000	0	
出版物(2,592) データ復旧代(20,409) 100,000 110,623 △10,623 寸志(49,622)等 繰出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186	雑費				
100,000 110,623 ☆10,623 寸志(49,622)等 繰出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186					
100,000 110,623 △10,623 寸志(49,622)等 繰出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186					
繰出金 550,000 550,000 0 名簿特別会計へ 予備費 168,186 0 168,186					
予備費 168,186 0 168,186	1				
				Ü	名簿特別会計へ
L ← → 16 205 19615 092 7141 411 4791					
□ □ □ [0,595,100 [5,905,114 411,474]	合計	6,395,186	5,983,714	411,472	

平成27年度同窓会名簿特別会計収支決算書

収入額 1,238,092円 支出額 216,480円

繰越金 1,021,612円

収入の部

項目	1	予算額	決算額	差 異	
名簿代		20,000	10,000	10,000	
雑収入		100	88	24	利子
繰越金		678,004	678,004	0	
繰入金		550,000	550,000	0	一般会計より
合計		1,248,104	1,238,092	10,012	

支出の部

項目	予算額	決算額	差 異	
名簿作成費	60,000	54,000	6,000	
名簿購入費	0	0	0	
印刷費	60,000	54,000	6,000	卒業生名簿 500部
通信運搬費	1,000	480	520	
個人情報				
業務委託費	162,000	162,000	0	H 28年度分
予備費	1,025,104	0	1,025,104	
合計	1,248,104	216,480	1,031,624	

平成27年度功労者表彰特別会計収支決算書

収入額 227,414円 支出額 0円

繰越金 227,414円

収入の部

項	目	予算額	決算額	差	異	
繰越金		177,395	177,395		0	
繰入金		50,000	50,000		0	平成27年度積立金
雑収入		300	19		281	利子
合計	+	227,695	227,414		281	

支出の部

項目	予算額	決算額	差 異	
祝賀会費	0	0	0	
記念品費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
予算費	227,695	0	227,695	
合計	227,695	0	227,695	

あらた同窓会資産表

平成28年9月末日現在

基金特別会計

定期預金定期預金

普通預金

日四以业

一般会計 普通貯金

名簿特別会計

普通貯金

功労者表彰特別会計 普通貯金 應児島銀行 10,000,000円 南日本銀行 3,000,000円 鹿児島銀行 601,536円 合計 13,601,536円

郵便局 33,391円

郵便局 1,021,612円

南日本銀行 227,414円

総計 14,883,953円

監査報告書

あらた同窓会平成27年度事業実績並びに会計について監査 しましたが、諸帳簿、証拠書類、預金通帳等はよく整理され、 事業運営並びに会計事務は適切に処理されているものと認め ます。

平成28年10月12日

あらた同窓会

監事 吉山 安大園 監事 下川 悦神園 監事 菊 川 明 爾

あらた同窓会

会長 藤 田 晋 輔 殿

平成28年度一般会計収支予算書

収入額 5,273,391円 支出額 5,273,391円

収入の部

10 4 5 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
項目	本年度 予算額	前年度 決算額	差 異	
会費	5,230,000	4,795,752	434,248	
年会費	2,800,000	2,607,752	192,248	2,000円×(1,400名)
入会金				新入生10,000円×(205名)
	2,080,000	1,983,000	97,000	新正会員3,000円×(10名)
懇親会費	350,000	205,000	145,000	5,000円×(70名)
会報賛助金	0	11,000	△11,000	
雑収入	10,000	305,444	△295,444	利子等
繰越金	33,391	602,186	△568,795	
繰入金	0	302,723	△302,723	基金利子
合計	5,273,391	6,017,105	△743,714	

支出の部

本年度 予算額	前年度 決算額	差 異	
458,000	343,937	114,063	
378,000	270,000	108,000	総会会費(5400円×70名)
80,000	73,937	6,063	幹事会,会計監查,評議員会
2,770,000	3,103,575	△333,575	
1,000,000	1,034,640	△34,640	会報 (秋季号、春季号)
300,000	300,000	0	
200,000	189,200	10,800	各支部へ
200,000	191,620	8,380	支部総会出席等
1,000,000	1,318,115	△318,115	会報送料、振込手数料等
20,000	20,000	0	講師謝礼等
50,000	50,000	0	平成31年度実施予定
1,207,000	1,775,579	△568,579	
360,000	520,000	△160,000	常任副会長360,000
450,000	953,450	△503,450	給料等
50,000	0	50,000	
30,000	29,932	68	事務用品等
100,000	91,673	8,327	電気、上下水道等
150,000	124,472	25,528	インターネット接続料、切手等
57,000	56,052	948	会館建物使用料
10,000	0	10,000	祝電、弔電等
0	0	0	
100,000	100,000	0	
120,000	110,623	9,377	
550,000	550,000	0	名簿特別会計へ
68,391	0	68,391	
5,273,391	5,983,714	△710,323	
	子算額 458,000 378,000 80,000 1,000,000 200,000 1,000,000 200,000 1,000,000 450,000 30,000 150,000 150,000 150,000 100,000 100,000 100,000 100,000 100,000 100,000 100,000 100,000 100,000 68,391	子算額 決算額 458,000 343,937 378,000 270,000 80,000 73,937 2,770,000 3,103,575 1,000,000 1,034,640 300,000 300,000 200,000 189,200 200,000 191,620 1,000,000 1,318,115 20,000 50,000 50,000 50,000 450,000 953,450 50,000 0 30,000 29,932 100,000 91,673 150,000 124,472 57,000 56,052 10,000 0 100,000 100,000 120,000 100,000 120,000 100,000 550,000 550,000 68,391 0	子算額 決算額 差 異 458,000 343,937 114,063 378,000 270,000 108,000 80,000 73,937 6,063 2,770,000 3,103,575 △333,575 1,000,000 1,034,640 △34,640 300,000 300,000 0 200,000 189,200 10,800 200,000 191,620 8,380 1,000,000 1,318,115 △318,115 20,000 20,000 0 50,000 50,000 0 1,207,000 1,775,579 △568,579 360,000 520,000 △160,000 450,000 953,450 △503,450 50,000 0 50,000 30,000 29,932 68 100,000 91,673 8,327 150,000 124,472 25,528 57,000 56,052 948 10,000 0 0 100,000 100,000 0 120,000

平成28年度同窓会名簿特別会計収支予算書

収入額 1,591,712円 支出額 1,591,712円

収入の部

項	目	本年度 予算額	前年度 決算額	差	異	
名簿代		20,000	10,000	10	,000	名簿4冊
雑収入		100	88		12	利子
繰越金		1,021,612	678,004	343	,608	
繰入金		550,000	550,000		0	一般会計より
合	計	1,591,712	1,238,092	353	,620	

支出の部

項目	本年度 予算額	前年度 決算額	差 異	
名簿作成費	60,000	54,000	6,000	
名簿購入費	0	0	0	
印刷費	60,000	54,000	6,000	卒業生名簿 500部
通信運搬費	1,000	480	520	
個人情報				
業務委託費	162,000	162,000	0	
予備費	1,368,712	0	1,368,712	
合計	1,591,712	216,480	1,375,232	

平成28年度功労者表彰特別会計収支予算書

収入額 277,714円 支出額 277,714円

収入の部

107	, HIS					
項	目	本年度 予算額	前年度 決算額	差	異	
繰越金	Ì	227,414	177,395	50),019	
繰入金	:	50,000	50,000		0	平成28年度積立金
雑収入		300	19		281	利子
合	計	277,714	227,414	50),300	

支出の部

項	目	本年度 予算額	前年度 決算額	差	異	
祝賀会費		0	0		0	
記念品	費	0	0		0	
雑費		0	0		0	
予算費		277,714	0	277	7,714	
合語	H	277,714	0	277	7,714	

鹿児島大学農学部あらた同窓会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、鹿児島大学農学部あらた同窓会(通称:あらた 同窓会)と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の交流と親睦を図るとともに、農学部 の発展に寄与することを目的とする。

- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を 行う。
 - (1) 会報及び会員名簿の発行
 - (2) 農学部との連携及び協力
 - (3) その他必要と認めた事項

(支部)

第4条 本会は、支部を必要な地に置くことができる。

第2章 会 員

(会員)

第5条 本会は、次に掲げる正会員、学生会員及び賛助会員をも って組織する。

正会員

鹿児島高等農林学校卒業者

鹿児島農林専門学校卒業者

鹿児島大学農学部卒業者

鹿児島大学大学院農学研究科修了者

学生会員

農学部及び大学院農学研究科に在籍する学生

賛助会員

現賛助会員 (現職教員)

旧賛助会員(退職教員)

会員は、住所等に移動が生じた場合、その都度事務局に連絡 するものとする。

第3章 役 員 等

(役員)

- 第6条 本会に次の役員を置く。
 - (1) 会長 1名 (2) 常任副会長 1名 (3) 副会長 3名 (4) 評議員 若干名 (5) 監事 3名 若干名
 - (6) 常任幹事及び幹事 (7) その他会長が認めた者

(役員の選任)

- 第7条 会長、常任副会長、副会長、評議員及び監事は、総会に おいて選任する。
- 評議員は、前項の他に各地域支部支部長、農学部副学部長及 び学科長、並びに鹿児島支部幹事をもってこの任に当てる。 3 幹事は、農学部の各講座から推薦された者をもってこの任に
- 当て、その中から庶務、会計、会報および名簿担当の常任幹事 を互選する。

(役員の任務)

- 第8条 会長は本会を代表して会務を総理する。
- 常任副会長は会務の執行を総括し、事務局を統括する。
- 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務 を代行する。
- 評議員は、総会及び評議員会の構成員として、会務の執行上 重要な事項を審議する。
- 5 監事は会計の執行状況の監査を行う。
- 常任幹事及び幹事は、幹事会の構成員として、本会の事業の 企画・立案及び実施等に関する事項について協議を行う。 (役員の任期)
- 第9条 総会で選任された役員の任期は2年とし、再任を妨げな い。ただし、役員に欠員を生じた場合の補欠の任期は前任者の 残任期間とする。

(名誉会長及び顧問)

- 第10条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。 2 名誉会長は会長が委嘱する。
- 農学部長は本会の顧問とする。
- 名誉会長及び顧問は、会議に出席し、意見を述べることがで 4 きる。

第4章 会議

(会議)

- 第11条 本会の会議は、総会、評議員会及び幹事会とする。 (総会)
- 第12条 総会は、第5条第1項及び第10条に掲げる者をもって組 織する。
- 2 総会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 役員の選任に関する事項
 - (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
 - (3) 予算及び決算に関する事項
 - (4) 会則の改廃に関する事項
 - (5) その他会長が必要と認めた事項
- 3 総会は、会計年度開始から2ヶ月内に会長が招集する。
- 総会の議長は出席者の中から選出する。
- 5 議事は出席者の過半数で決するが、可否同数のときは、議長 の決するところによる。

(臨時総会)

- 第13条 臨時総会は、会長が必要と認める場合に開催できる。
- 2 臨時総会の議長の選出並びに議決は前条の規定によるもの とする。

(評議員会)

- 第14条 評議員会は、会長、常任副会長、副会長及び評議員をも って組織する。
- 2 評議員会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 本会の運営における重要な業務の執行に関する事項 (幹事会)
- 第15条 幹事会は、常任副会長、常任幹事及び幹事をもって組織 する。
- 2 幹事会は、次に掲げる事項を協議する。
 - (1) 総会及び評議員会に付議する議案書の作成
 - (2) 本会が行う業務の具体的執行計画等

第5章 会 計

(経費)

- 第16条 本会の経費は、正会員及び現賛助会員の会費、学生会員 の入会金及び会費、寄付金等をもって充てる。
- 2 正会員及び現賛助会員は、年会費として2,000円を納付する。
- 3 学生会員は、入会金及び在学中の会費として、入学時に、 10.000円を納付する。
- 4 年齢が満80歳に達した会員は会費納付を免除する。 (会計年度)
- 第17条 本会の会計年度は、10月1日から翌年9月30日までとす る。

(監査)

第18条 監事は、会計年度ごとの事業実績並びに会計の執行につ いて監査を行い、その結果を会長に報告する。

第6章 事 務 局 等

- 第19条 本会の事務を処理するために事務局を置く。
- 2 事務局は鹿児島大学農学部あらた会館内に置く。

(雑則)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な 事項は、別に定める。

本会則は、昭和28年12月12日より施行する。

本会則は、昭和53年11月23日より改訂施行する。

本会則は、昭和60年11月23日より改訂施行する。

本会則は、昭和61年11月23日より改訂施行する。

本会則は、昭和62年11月23日より改訂施行する。

本会則は、平成12年11月23日より改訂施行する。 本会則は、平成23年11月23日より改訂施行する。

- 過去に終身会費を納付した終身会員は年会費の納付を免除 する。
- 2 あらた同窓会功労者表彰は、2009年を起点として、5年毎に 行う。

編集後記

今年もまた、旅たちの時を迎えようとしています。例年と大きく異なる点は、本年度、 農学部を退職される先生がおひとりもいらっしゃらないということです。「偶然の妙」と 言いましょうか。

ここまで書いて、このような状況で「偶然の妙」という言葉を使うことが正しいのだろうかと気がつき、「妙」という字を電子辞書版広辞苑で調べてみました。①不思議なまでにすぐれているさま、②じょうずなさま とあり、万葉集や源氏物語でもこの「妙」が使われているそうです。つまり、偶然起こったよい事象に使う言葉だと確認できました。

現在、本会報の境先生からの報告にもありますように、農学部の改組も含めて大学は改革の真っただ中です。運営交付金も減らされる中、教員の補充もままなりません。このような点からすると退職される先生がおられないということは、まさに「偶然の妙」と言って良いのかもしれません。しかし、この状況でこの言葉を使うことには抵抗も大いにあります。少子化で大学を取り巻く環境は厳しさを増していくことと思いますが、卒業生の皆様には、ますますのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

(文責 附属農場 遠城道雄)

鹿児島大学農学部あらた同窓会

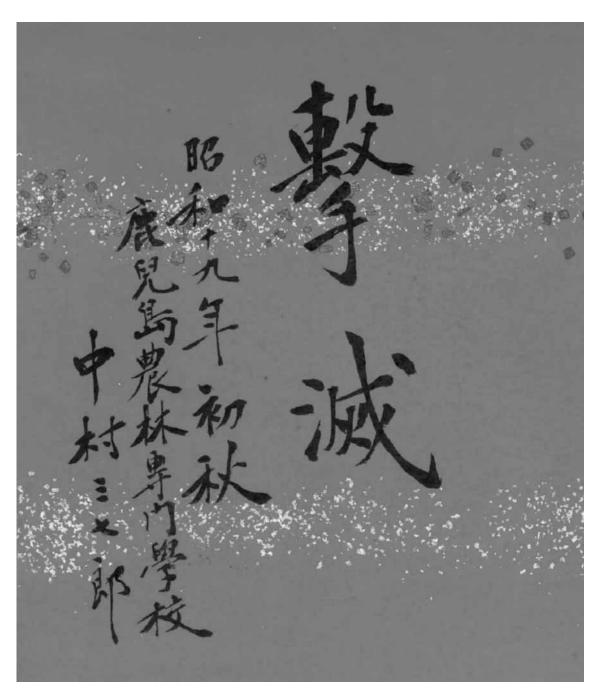
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 2 1 - 2 4 TEL・FAX 0 9 9 (2 8 5) 8 5 3 7 e-mail (aratakai@mc2. seikyou. ne. jp) 郵便振替口座 0 2 0 1 0 - 2 - 8 7 6 事務局の業務日 月・水・金(10:00~16:00)

印 刷 所 中央印刷株式会社

住 所 鹿児島市春日町12-16

TEL 099-247-3300 FAX 099-248-0164

E-mail p-chuou@awg.bbiq.jp



鹿児島高等農林専門学校・中村三七郎先生が学生に贈られた色紙 (大地謙一氏(農 S 19 卒)のご遺族から寄贈)



附属農場前のレンゲソウ畑